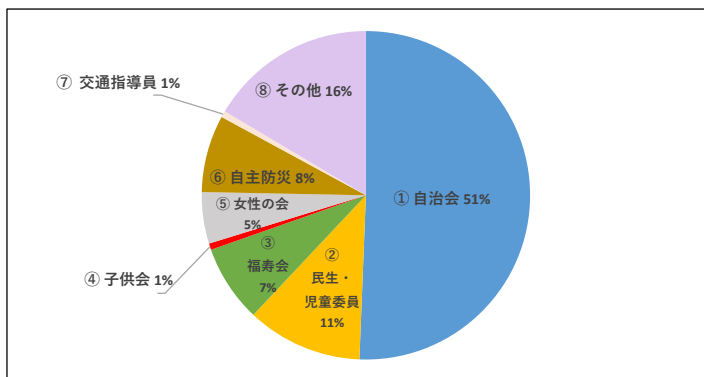


地域づくりと協働の講演会 アンケート結果

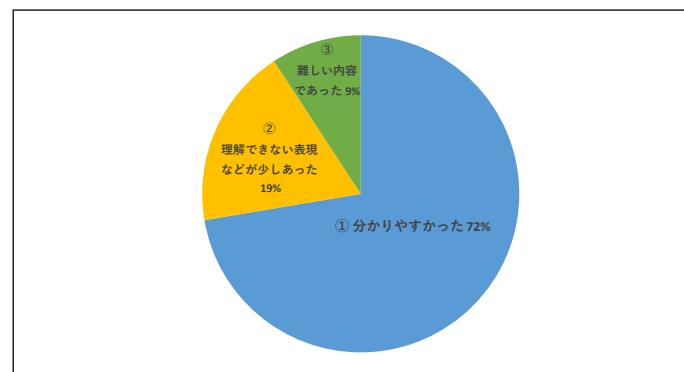
1. あなたは地域で何か役割を担っていますか？

① 自治会	80
② 民生・児童委員	18
③ 福寿会	12
④ 子供会	1
⑤ 女性の会	8
⑥ 自主防災	12
⑦ 交通指導員	1
⑧ その他（なし 祭 防犯 クマネジャー 組長 NPO子 供食堂等 保護司 PTA 議員 消防団）	26



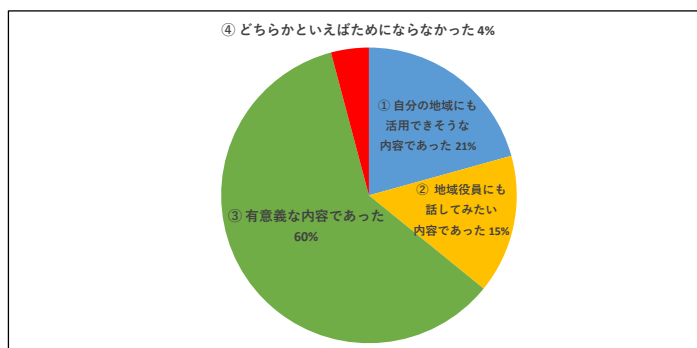
2. 本日の講演会の内容はどうでしたか？

① 分かりやすかった	102
② 理解できない表現などが少しあった	26
③ 難しい内容であった	13



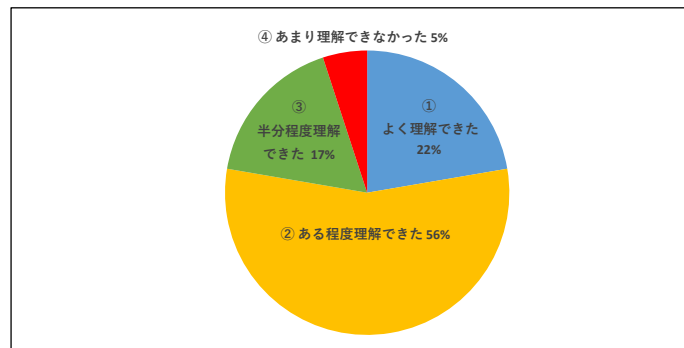
3. 講演内容はどの程度参考になりましたか？

① 自分の地域にも活用できそうな内容であった	30
② 地域役員にも話してみたい内容であった	22
③ 有意義な内容であった	87
④ どちらかといえばためにならなかった	6



4. 協働のまちづくりについて理解は深まりましたか？

① よく理解できた	31
② ある程度理解できた	77
③ 半分程度理解できた	24
④ あまり理解できなかった	7



5. 本日の講演を聞いて、印象に残った言葉は何ですか？

- ・課題解決から入らない
- ・誘い込み 誘い合わせる 誘い合う
- ・巻き込むではなく誘い合う
- ・「人財の好循環」づくりがカギのフレーズが印象的
学びの場づくりには大いに賛成！新たな学びの場の企画！
- ・人財の好循環 誘いあわせる
- ・若い人達を「誘い込む」
- ・Beyondコロナ
- ・「地域づくり」の3原則
- ・協働
- ・持続可能ですこやかなまちづくり コロナ禍で地域活動に消極化 JK化
- ・地域カルテ こまりごと 自慢 その他の話の内容を共有する
- ・若年層が大事 議会も若い議員を 若者の地域の参加を
- ・コンセプトは「楽しい」
- ・楽しくなければ続かない 人が集まらない 入らない
- ・若い人口が減少著しい
- ・すこやかな町 1.健康 2.精神 3.社会
- ・「人財」という人という財産的な考え方 地域法人化
- ・若い人を誘い込んで楽しく有意義にすすめる
- ・プラットフォーム・ビルダー
- ・若者会議
- ・健康について
- ・社会的なつながり 地域の自慢100個把握
- ・若い方が中心となった多世代交流が大切
- ・地域の活動は他地域の交流も考える必要
- ・若者の誘い込み難しい
- ・若手人材育成 地域の特性 自発の原則 中間支援（市はサポート）
- ・人口交流 高齢者にケア
- ・若者主導のまちづくりの大切さ
- ・鯖江の女子校正の自治参加
- ・今後の弥富市の人口の予想
- ・社会的すこやかなまちづくりへ
- ・行政主導ではなく「地域発」が重要
- ・プラットフォーム MichiLab
- ・すこやかな (Will being)

6. 5で答えた印象に残った言葉から、自治会、コミュニティ活動にどういかして いきたいですか？

- ・学びの場で「論語」の寺子屋をつくってみてもいいと思う。
いい学びであれば、人は集まると信じています。→いい人間が育くことと思います。
(私自身微力ですが、協力をおしみません)
岡崎市の真似でもいいと思う。岡崎のやり方を学び実行して下さい。
- ・祭の担い手が不足しているので、楽しめる場、雰囲気を作るほうが良いと感じたので活かしたいと思う。しかし、自治会のやる気がなくてはそれもできないと感じた。人財の好循環を本来はやっていきたいが、それを行うにも多くの人の協力が必要であり、それを伝える場が必要であるため、その場をつくることから始める必要があると感じた。
- ・もう少し自治会も積極的に動いてほしい
市の職員はどう活動しているのですか？やる気のある人はいますか？
- ・子育て世代もいらっしゃいますが、子育てで手いっぱいと言う人が多いです。楽しいで「誘い込む」がなかなかむずかしい。
- ・若者がまわりにはないので誘いこみができない。若い人に話を聞いてもらえる機会を作ってほしい。
- ・自分達がやりたいことを提案できる環境づくり
- ・自治会の高齢化、若者は自治会に入らない 自治会員の退会ドミノが今後発生すると思います。その状況に対し、弥富市としてどうするつもりでしょうか？このままでは自治会はなくなってしまいます。メリットもありません。
- ・コロナ禍で地域活動に消極化になっている人が多くなってきているという事で、考え方が変わってきている事に驚いています。すぐに元に戻す事は難しいと思うので、少しずつでも積極的に参加する人が増えてくれるように自分は行動したいと思う。
- ・人口増加の将来問題 弥富市に住みたいという人をいかに獲得するかの活動を各自治会と市役所が連携して考えて行く
- ・福寿会の会費を増やすことに
- ・いろいろ話を聞いて役員会に提案し役立てていきたい
- ・横より縦のつながりを！！
- ・声かけを幅広くしていく
- ・人のつながりが大切であり内側ばかりでなく、外ともかかわる必要性を感じました。
- ・今年度から、小学生の太鼓の練習を復活したが、どんどん上手になりとても楽しく活動できた。ぜひ続けていきたい。
- ・小学生と親 中学生と親等の集まりをつくる。PTA、子供会、町内会等を分けない。集まれる人だけでも良い。
- ・町の人たちに聞き取り調査をする
- ・一人では行けないけど、一緒なら行ける
- ・楽しい行事 若い方も参加しやすい行事を自治会として考えていく頃になったのかと思う。
毎年毎年、変わっていく体制ではなかなか難しいとは思う
- ・人財の誘い合わせによる団体構成
- ・保存会の活動にかかわっていますが、子供の数が減っている問題がありいかに子供の参加を増やすかが課題です。大人がどうすれば子供の参加を増やすことができるか考えていますが、子供達の意見をもっと聞いて友達などを誘ってくれるようにしていきたいと思っています。

- ・担い手の拡大
- ・地域カルテはとて面白い取組みだと思います。NPO法人化はいいと思います。
- ・人口減少を前提とした従来型の自治会の変化が求められる。又、行政は自治会/コミュニティの自律的活動を支援する必要がある。
- ・町内会や子ども会の活動が難しくなってきた今日、小学校から子どもたちを巻き込んだ活動それを持続できる活動が何かできると良い。（アイディアは浮かびませんが）活動が持続され、若者たちが子どもたちと活動し、老年令の方々もその活動に参加できたらいいなと思いました。
- ・情報を共有する
- ・地区活動はやはり高齢者から若年者への参加づくりが必要なイベントをしていきたい。
- ・自治会役員の選出方法の改善、任期の明確化、若年世代の活躍を期待したいが現実的には困難では
- ・人を集めて楽しいことをする。何が楽しいかを色々な人と話す。自分達の場所をどんな所にしたいか
- ・マンネリ化した行事しか活動してない状況の中でこの考えを広めていく方向がわからない。どの様にすれば地域全体に広まるか方法が不明
- ・「回覧」の紙だけではなく「内容の良さ」を伝え一緒に取り組める様にしたい
- ・小・中学校に行っている親子で参加してもらえば活動も増えるかもしれないが、子供も少ない
- ・若い方にも集まって楽しんでもらえるような事業づくりに取り組んでいきたい
- ・次年度の会長には伝えたいと思います。
- ・目的を持った活動を実践していくこと
- ・ある程度は悪さ加減を見据えているつもり（地域活動）年代の違い、各年代層（30代、40代、50代、60代、70代）で考えが違いすぎるが、共通するようになっている。自治会で応用するには難しいと思う。
- ・具体例が少なく、めどがたたない
- ・若年層がキーポイントとなる どうとりこむか
- ・若者の提案を受け入れる
- ・そこが問題です
- ・自治会役員は大体順番で仕方なくやっている人が多いので、役員をやって大変だったという印象もたれないようにしたい。役員をやってみたら楽しかった。又やっても良いと思ってもらえるような活動をしたい。
- ・楽しい事業を実施してみたい（チャレンジ）
- ・若者の参加率を高めることが重要なのは理解できるが参加させるためには、地域の課題勉強会ではなく若者が興味を持つことを取り入れることだと思いますが、現実問題として自治会活動には若者の参加が仕事の関係もあり、中々くれないのが現実である。
- ・各年齢で「楽しい」 参加していない人が参加したくなる様に
- ・やらされ感のない形で活動をしていく
- ・多世代との交流の機会をつくること 地域付き合いを前向きにもってもらえる人材、育成が必要である
- ・祭りは過去の風習のまま続けているが、皆が楽しめるイベントに変更していくのも良いと思う。自分がそこにどう参加できるか判らないが、チャンスがあれば関わりたい
- ・各コミュニティが若者に委託してまちづくりを推進すると活性化につながるかも！？

- ・誘いあわせる
 - ・今 自分達が開催しているサロンにたくさんの人を誘い合わせたい。
 - ・役があたらないようにする人がたくさんいる。自分の町内なのに他人ごとのように考える自己主義な人が多い。手当をたくさん出せるようにすること
 - ・「楽しく」になるものを取り入れたらいいと思うが昔からのやり方があるので、新しく「楽しく」に特化するの難しい
 - ・なかなか若者への言葉かけも難しく次世代へ移行していくにはどうしたら良いか考えさせられます
 - ・長年住んでいるにもかかわらず、カルテ作り難しいと感じました。見直す材料としたいです。
 - ・楽しいと思える活動は大切と思えた 仲間づくりは難しい？生活の中にゆとりがないので地域まで思える余裕がないのでは？
 - ・若い世代との交流 サポートを通して少しは若いお母さんとの交流もある。そこから少しずつ広げていくことができるか？
 - ・自治会などいろいろな活動にいかにして若い人を誘い込むか いかにして楽しい活動を作っていくか
 - ・若者が参加の難しさ 黎明高校の生徒会活動などは参考になるのでは
 - ・自治会の中で地域の特性について話し合いたいと思いました。若者が何が楽しいか話し合いの場をもちたい
 - ・若者の参画、楽しいと感じるイベント開催
 - ・「楽しい」活動がポイント お互いが知りあえると楽しいですね
 - ・すべてにおいて楽しくするという事が原点だと思いました
 - ・現在の活動を楽しいものにしたい
 - ・身体的な健康はもちろん、地域的な健康になれ
 - ・例えば12月に行う一斉大掃除、5月のゴミ0 ゴミの回収量、回収範囲、チームを組んでの対抗（回収量等）何かご褒美があり楽しめるような企画 子供さん～高齢者まで家族全員で参加できる企画 現状では一戸1名の参加であると思うが輪を広げる。
 - ・課題解決等の結果ばかりを追うのではなく、地域づくり・市民協働にはやはり“住民・職員がやらされている”ではなく“住民・職員が楽しいからやりたい、輪を広げたい”そういった考えになるような制度設計が必要と考えました。そして、その制度設計について、行政だけが主観的に行うのではなく、住民と職員が共に設計しなければならないという心を持つことができました。この考えのもと、引き続き市民協働事業に取り組んでいきます。
 - ・自治会は高齢者のみで若者はなかなか入らない現状
 - ・講演者がモデルとしているところと弥富市ではそもそも、人口規模、人口の年代別構成、経済力の差が違うのでは？そもそも市が中心地区以外での活動を支援しようとしていないのではないかと。むしろ中心地区のみに集中しようとしている。「課題解決」とは自分達の力でどこまでやれるのかが問題なのでは。そもそも何を課題とするのかという話だ。
- 他の地域振興して、巻き込み型とかいっていたのはどうなのか。自治体それぞれの違いといったものを無視したような感じ。

7. ご意見、ご感想をご記入ください。

- ・吸い込まれる程のことはなかった
- ・弥富市の今日の集まり「講演会」に多くの人に参加された事は、今後の弥富の発展に期待したいと思いました。
- ・平野議長が鯖江のJK課を役所が許すことがすごいと言っていたが、許すという意識がある時点で若者が担う街づくりは行えないと思った。鯖江市においてもJK課が街づくりを担っており、役所がサポートする体制を構築しているというのを弥富でも見習うべきであり、役所全体の意識改革が必要である。住民主体で行うのがたしかに理想ではあるが、それをサポートする役所の体制が未成熟では、住民主体でも限度がある。

私は大学院で弥富市の歴史的・文化的側面からのまちづくりについて調査を行ったが、祭りでは担い手不足・修理や保全に関わる費用の増加が課題としてあげられる。歴史的側面においては、服部家住宅の保全に関わる個人の負担の増加、史跡・遺構の認知不足・保全が行き届いていないという課題があげられる。また、金魚・文鳥の特産品においても歴史民俗資料館側に任せきりという実体があるのも課題である。産業振興課において弥富の特産品を把握していない時点で意識の低さが見える。

これらの課題を解決するためには、役所及び住民のシビックプライドの向上が必要であると考える。歴史的な街づくり・文化的な街づくりで良く行われるのが、街の歴史・文化を周知させるイベントや情報発信を行うことである。私は昨年尾張旭市のほうで、学生ではあるが、教授とともに、街の歴史を周知してもらうための番組作成に関わりました。それを通じて小学生高学年でもわかる内容で周知させることで子どもたちに街の歴史・文化に興味をもってもらえるようにすることで、未来を担えるようにということでこの番組作成がおこなわれた。この取り組みは別の町でも行われるようになっている。

以上のようなことを行うことによって自分たちの街には歴史・文化が多くあり、それを守行という意識を目芽えさせることが少なからずできる。また、保存会や佐屋高校の文鳥などの活動を役所がもっとサポート出来る体制をつくり、最初は役所が主体で意識改革をし、保存会や街づくりを担ってくれる人を集め、活動を活発化させた後に、住民主体のまちづくりへの転換が必要であると考えられる。

- ・高齢者対象ですか？若い人 30代40代の色々の所での参加が少ない。好きな所へ参加するけどめんどうな所は出ない。今回の講演で何人の人が積極的に来ているのか、聞きたいです。そこからではないですか？カニエの方が色々活動していますよネ。
- ・前説が長く、せっかくの票が小さすぎて見にくかった。高齢者の方が多く集まってみえるようだったので、高齢でもできる地域作りの話が聞きたかった。
- ・やらされているという意識を変えることが大切だと思う
- ・高度成長期はとっくに終わり、現在は少子化で核家族化が進んでいます。昔みたいに3世代が同居していたような「サザエさん」的な家庭は少なくなっています。その中で自治会の活動を従来と同じようにやろうとしても無理なことは明白で自治会を退会する世帯もふえています。こういう状況は自治会単独で何とかするのは難しく、行政が介入すべき課題と考えます。弥富市としてどのような策をお考えなのか？それが見えていません。若い世代は共働きで地域の活動になかなか時間をさくことができず困っています。どうか何らかの策をお示してください。
- ・午後からの講演はどうしても眠りがくるので、できたら午前が良かったです

- ・あたり前のデータを説明していたに過ぎない。世田谷のデータはあまり参考にならない。弥富市のカダイに対し、こうするべきでは？こうしたらどう？という仮説でもよいので提言がほしかった
- ・本日、会場に来るまでは話を聞いても難しく理解出来ないだろうと不安で来場しました。大杉氏の話の話を聞いていると、すごく分かりやすく理解出来ました。休日という事もあり気が乗らなかったのですが、来て良かったと思いました。ありがとうございました。
- ・自治会で若い人の考えを受け入れるにはどうしたらいいかを考えてみたい。
- ・地域の未来についてコミュニケーションをとり、地域問題は役所と共有をして進めていきたい。
- ・市長が話す活動計画より講師を招いてお聞きした方がいいですね。
- ・大変参考になりましたが現実には難しいと感じましたが、前向きに活動していきたいと思います。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・コミュニケーションはとりたいが役員はやりたくない、プライベートは守りたい等、自分だけと思われる人が多くやりづらい。
- ・全体に何を実行するのか議題が多い。参加する人をやる気にする方法が問題
- ・3年のみ支援してそれ以降は自立させる考え方がいいと思った。地域カルテという見える化もいいと感じた。
- ・本日の参加者はほとんど60歳代以上の人達でした。やはり若い人達が考えないといけない問題だと思います。しかし、若い人は忙しく参加や考えることが難しいのが現実です。若い人達が集まる場所で啓発できる工夫があればいいと思います。あと、行政には子供を増やす施策を実施して欲しい。住みやすく育てやすい。保育所や託児施設等。あと児童手当（抜本的な）3人目以降大幅増（全国でも有名になるくらい等）
- ・演台が暗くて講師が薄暗く見えた
- ・とても分かりやすい講演でした。市民の方がこういう講演を見れるようにしていただきたいです。
- ・ハードルが高い内容のようにも感じましたがはじめの一步を出す勇気が必要だとも思いました。
- ・円安、外国人をどのように学校などで受け入れられるのか？文鳥、金魚の時期は終わった様だ。新しい文化が欲しい。家族団らんが大切に。競馬場は本当に良かったのか？
- ・自治会活動参加者が減ったのは、コロナだけが原因ではないと思う。活動の意義（必要性）を本質的に考えて有無（是非）を判断していく
- ・地元では無い住民が増えている中で、押し付けられ「昔からこうだ」と教えられ、いつの時代から進化をしていないのか心配。昔からの文化は残しつつ進化をするべき。大杉先生の講演は賛同する話ばかりです。この講演は進化をしない町内の長老達に聞かせたいですね
- ・地域行事はやらされ感があってはダメ。やはり自発的に楽しく参加できるようなシステムづくり、人財づくりが大事であることがよくわかりました。
- ・わかりやすい講演会でした
- ・私の年齢（66歳）でこの町のことを考えると「防災」という言葉がいつもついて回ります。この次に「まちづくり」についてお話を聴く機会があるのなら、「防災」についてもお話して頂けるとありがたいなと思いました
- ・もっと具体的に、どのように共通な意識をもてるかヒントがほしい。その時自治会活動の問題点を解決出来る具体例を聞きたいと思う。
- ・なかなか実際実施することが難しい現状もあるが、とても共感できる内容で参考になりました。わかりやすい講演で最後まで眠くならず聞くことができました。良い講演会でした。

- ・行政とコミの連携をもっと積極的に進めたい
- ・コミュニティ活動の重要性はある程度理解している方は多いと思います。そのような思いの方々をどう誘いこむかが活性化の鍵ではないかと思います。
- ・2070年までデータはいらぬ 若い世代が弥富に引っ越してきて子どもを増やす
市政が努力してほしい
- ・役員が負担を感じてやめていく組織が多い 若者が負担を感じないような形を取ってほしい
- ・楽しいとは思えません。負担ばかりです。具体的にどうしたらいいのか分かりません。そもそもなぜ地域活動が必要なのかもっと聞きたかったです。
- ・地域づくりは分かりますが、役員は毎年変わっていってしまいます。毎年の行事をこなすのに精一杯です。行政もどこまでサポートをしていただけるかが重要に思います。
- ・地域の課題が見えていないことに気付きました。
- ・弥富市が若者が自慢できる何かスローガンがあると良い。例えば弥富市は再生可能エネルギーだけで生活できる⇒弥富市に住んでエコロジー/地球にやさしい生活をしよう
- ・理想は理解できたが、「自発の原則」を定着させることは相当困難だと思う。そのための方法をもっと聞きたかった。
- ・住民が参加する事が大切
- ・地域ごとのつながりや若い人を巻き込むグループ作りを市のコミュニティ協議会が楽しく運営できる助言をお願いしたい。
ヤトミーティングがあることを知れてよかった。→広報を使って発信をして欲しい。
市の方 柔らかい頭になって楽しい弥富にしましょう。
- ・話は聞いてみるのが大事 為になる話ですがこれが地域の方にどのように話しを持っていくかたいへん難しいと思います。
- ・若い弥富市役所職員の方が積極的に発言をしていてよかった。これからも市のまちづくりなど市政に積極的に取組む若者を評価して欲しい。
- ・終了の時間がわかっているので途中退席する方は、後ろに座って頂き後ろのドアから出て頂くよう受付でお願いとかがあってもよかったのかなと。
- ・高齢になると外に出る機会も減り、難しいです
- ・自分はあまり地域を知らなかった
- ・わかりやすい講演でしたが、若い人の参加が大切なことはよくわかった。しかし、なかなか若い人との接点がない。今の教育は知らない人とは話してはいけないと指導されており難しい。若い人が何を楽しいと思っているのかもわからない。これがうまく解決すればもう少し前に進んで行けると思う。
- ・地域カルテ 良い所をお伝えできるきっかけになるかな
- ・コンセプトは「楽しい」この言葉を忘れないようにしたい
- ・大変わかりやすかったです
- ・弥富市のまちづくりにこれを機にアドバイス・支援をお願い致します
- ・少子化高齢化といわれ社会活力が失われつつある中、本日の講演の内容は将来性を感じられる内容だったと思います。楽しさを感じつつ自発的に進められるよう自分自身やれることで関わっていきたくて思いました。本日はありがとうございました。
- ・「楽しい」と誰もが感じ地域がつながり、活性化していくことが大切だと思いました。大変参考になりました。

- ・自治会や自主防災の活動にもっと意識して楽しさを取り入れ、自分も楽しめるようにしたいものです。

小学校の児童が仲良くイジメがなかったときは、他の児童の「いいところ見つけ」をしていて、先生方も不都合な時に他の先生が自然と授業などを引き受けて実践してみえた。「地域のいいところ見つけ」はやる必要はあるが…SDGSのまちづくり発想はおもしろいと思います。各自のイノベーションを上げる知恵を生むには生活の余裕をもつこと。だからまず、自治会、自主防災の交流し知り合うことが必要。知ることは楽しい。

- ・私の地域には「サロン」作りが課題になっていますが、とても難しく挫折しそうですが頑張ってみようと思いました。
- ・コミュニティー活動って本当に必要なのか？
- ・基本、コミュニティーは地域から作り上げるもの 行政はそのサポート役である事を認識する良い機会であったと思う。
- ・自身が歩んできた職務経験上、あまり市民と何かを作り上げるということをしてきませんでした。その中で組み上げられてきた自身の考えを改めることができた講演会でありました。ありがとうございました。
- ・既にコミュニティー活動に熱心な年代が聞きに来ているのに、参加、活動する意義についての講演とはそれいかに 消極化はそもそもその傾向がコロナで顕著化、あるいは大きくそちらにふれるきっかけになっただけでは？ イベント等は自分が運営する側にまわりたくないだけでは？ データの読み取りを都合よく解釈しているだけに感じる。やはり学者先生の理論・概念話なのか。他所ではこうやってるよ、成功したのはこうしたところだよ というだけの話